

2014年 年頭所感 アキュラホーム社長宮沢俊哉

株式会社アキュラホーム（本社：東京都新宿区 代表取締役社長：宮沢俊哉）では、2014年1月6日（月）に年頭式を行いました。ここに、当社代表取締役社長宮沢俊哉の年頭所感を紹介いたします。

新年明けましておめでとうございます。当グループにとってここ数年は、東日本大震災後の職人・資材不足や、準耐火建築物の対応など試練の時となりました。しかし従業員の尽力によって今期業績は回復の兆しが見え、組織体制や制度などの企業基盤においては大幅に見直し変革することができました。

アキュラホームは昨年10月に創業35周年を迎え、大きな節目の年となりました。我々を取り巻く環境は、2020年のオリンピックに向けた公共事業が進行するなど、今年は景気浮揚が期待されていますが、多くの業界は2020年以降の消費の冷え込みを懸念しています。住宅市場は消費税前の駆け込み需要後様子見の状況が続き、2015年秋には更なる税率アップという試練が待ち受けています。また根本的問題として人口減、世帯数に対する住宅ストックの超過などがあります。

我々はこの厳しい環境下において、今の時代だからこそ基本に忠実に「匠の本質」を究め続けることが重要だと考えています。そのためには様々なことに挑戦し、進化し続ける必要があります。当社の「家守り活動」（住宅のアフターサービス）も、各支店が主体となって徐々に活動の輪を広げ、「家守り」から「地域守り」へと進化しています。また、全グループを挙げて取り組むプロジェクト、「KAIZEN活動」及び「戦略商品開発プロジェクト」では、今年度中に地域毎の特性を加味した9棟の試行棟が完成する予定です。ここで得た改善策は現在の商品に盛り込み、コストパフォーマンスだけでなく、お客様には住まいづくりを通して豊かな暮らし方をご提案してまいります。

当社が匠の本質を究め具体化していくには、全従業員をはじめ、職人や協力業者など関わる全ての人々の協力なくしては成し得ません。ぜひ皆様には様々な発想を持ち寄り、大いにチャレンジしていただき、ともに成長していきたいと考えております。

今年は午年。「天馬空を行く」（天馬が自由に空をかけるように、考え方などが自由奔放であるさま）の如く、これまでの住まいづくりを見直し新しい時代の価値観、様々な技術革新を盛り込み、お客様に豊かな暮らしを提案していきましょう。そして我々のミッション・ビジョン※の実現に邁進していきましょう。本年も何卒よろしく願いいたします。

*ミッション:「日本の住まいを安くする」 ビジョン:「品質、価格、サービスのすべてにおいて日本一の住まいづくりを目指す」

<本件について報道関係からのお問い合わせ先>

株式会社アキュラホーム 広報課 堀越・若林 Email : agura_pr@agura.co.jp

住所 : 東京都新宿区西新宿 2-6-1 新宿住友ビル 34F TEL : 03-6302-5010 (直通) FAX : 03-5909-5560

●弊社社長宮沢の写真データは下記 URL よりダウンロードすることができます。

URL : <http://www.agura.co.jp/news.html>